

第5回 東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画策定検討委員会
会議の進め方について

平成 29 年 4 月 27 日（木）

東海村（仮称）村松地区周辺地域活性化計画
策定検討委員会事務局

（１）はじめに

これまで、村松地区周辺全体（本計画のエリア全体）の地域活性化に向け、計画の“コンセプト”について議論を進めてきたところですが、第5回の会議からは、各エリア（村松周辺エリア・細浦青畝エリア・幼保跡地エリア）における取組みについて、具体的な検討を行います。

具体的な検討を行うに当たっては、平成 31 年の茨城国体の開催や近年中に予定される国道 245 号の拡幅を 1 つの区切りとした「短期的な取組み」と「中・長期的な取組み」に分けることとし、まず、「短期的な取組み」について、「取組みの主体（誰が取り組むのか）」も含め、議論することとします。

なお、これまでの会議において、本計画の中心は大神宮や村松山虚空蔵堂が所在する「村松周辺エリア」から具体的な検討を始めるとされています。よって、まず、「村松周辺エリア」における短期的な取組みについて第5回・第6回の会議を目安に取りまとめ、以降、平成 29 年度内（平成 30 年 3 月末まで）に「細浦青畝エリア」及び「幼保跡地エリア」における短期的な取組みについても取りまとめたいと考えております。

（２）タイムスケジュール

10:00-10:05 開会・資料確認・委員長あいさつ
10:05-10:20 会議の進め方説明、質疑
10:20-11:05 グループワーク
11:05-11:15 休憩
11:15-11:45 グループワーク（つづき）
11:45-11:55 意見の共有・まとめ
11:55-12:00 事務連絡
12:00 閉会

（３）議論

議論するに当たってのグランドルール

限られた時間内で、活発な議論とするために、以下のルールを心がけていただきますよう、ご協力お願いいたします。

1. 話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにする
2. 分かりやすい言葉をつかう
3. 他の人の意見を否定しない



①グループ分け

以下のAグループ及びBグループの2グループに分かれ、議論を進めます。

グループ	委員
A 《進行》橋本補佐	井坂副委員長，川亦委員，坪委員， 川崎（道）委員，鈴木（千）委員
B 《進行》高橋補佐	久賀委員，安尾委員，川崎（敏）委員， 宇野澤委員，藤田委員，鈴木（さ）委員

※欠席…荒木田委員，原委員

※小原委員長については、特定のグループには加わらず、各グループの議論の様子を見ていただき、適時、ご助言いただきます。

②グループワークの議論のテーマ

村松周辺エリアにおける短期的な取組みについて

《議論の方法》

- ①これまでの会議において出された「村松周辺エリアにおける意見一覧」（資料〔参考3〕）を参考に、コンセプトに基づき村松周辺エリアの地域活性化に向けて短期的に取り組む必要がある（取り組むことが望ましい）と思われるものや、すぐに取り組むことができるものを抽出します。
- ②なお、短期的な取組みを抽出するに当たっての主な視点としては、次のような視点が考えられます。

ア 村松周辺エリアにある現状・課題を踏まえる

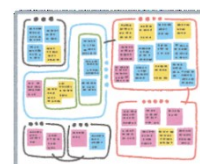
⇒村松周辺エリアにある現状・課題を踏まえ、村松周辺エリアの地域活性化に向けて、可能な限り早期に取り組むことが有効であると考えられるものは何かを考えてみる。

イ いきいき茨城ゆめ国体 2019 の開催を踏まえる

⇒H31. 9. 28～10. 8 を会期として茨城国体が開催され、9. 29～10. 3 には阿漕ヶ浦公園ホッケー場及び県立東海高校ホッケー場においてホッケー競技が開催されることを踏まえ、「来村者に村松周辺エリアに足を運んでもらう方法」や「村松周辺エリアの住民を盛り上げる方法」などについて考えてみる。

③グループワークの手法

ご意見につきましては、ポストイットに書き込み、模造紙に貼り付けていただきます。意見の整理は事務局で行います。



④意見共有・まとめ

各グループでの議論結果をグループの進行役より小原委員長へ報告することで意見の共有を図ります。